

氏名	塩崎 恭子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5432 号
学位授与の日付	平成 28 年 12 月 27 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Prospective Observational Study to Assess and Predict Serious Adverse Events after Major Surgery (術後有害事象の発生と術前評価方法についての 前向き観察研究)
論文審査委員	教授 中尾 篤典 教授 野田 卓男 准教授 白川 靖博

学位論文内容の要旨

術後の Serious Adverse Events(SAEs)の発生は、病院死亡の増加、入院期間の延長など患者の予後に影響を与えることが示唆されている。SAEs の発生率の把握、スコアリングシステムによる発生の予測により、周術期管理を適切に行うことで SAEs の発生の低下、患者予後の改善を図れるのではないかとする仮説のもとに研究を行った。2012 年 1 月から 7 月までに当院にて高度侵襲手術を受けた患者を対象に前向き観察研究を行った。

術後の SAEs の発生は 15.1%であった。今回調査した周術期スコアリングシステムはいずれも SAEs の有無で有意差があった。Area under the receiver operating characteristic curve は ASA-PS で 0.635, Surgical Apgar Score(SAS)で 0.680 であった。ASA-PS と SAS を組み合わせると 0.714 となった。SAEs 発生の予測には ASA-PS と SAS の組み合わせが有効であった。

論文審査結果の要旨

本研究は臨床例からその合併症、それを予測する因子を詳細に検討した貴重な研究である。

研究は適切に行われており、結果から導き出される結論も妥当である。

よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。